

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	暮らしの中での生活ケア		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担 当 教 員	田村 照子	実務経験と その関連資格	看護師 病院、施設などで12年勤務、教育機関で勤務			
《科目目標》						
1) 在宅における日常生活援助の工夫や経済面・介護負担を考慮した援助方法が考えられる。 2) 在宅という場を考えた生活援助が模擬実践できる。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療法を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療法を支える技術 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
脳梗塞Sさんの事例について基礎看護学で学んだ日常生活援助の基本を踏まえ、在宅での援助方法の工夫や日常生活で利用する物品がどのように応用できるか考える。 毎回の学習については授業以外での準備学習の具体的内容を参照する。						
《履修に当たっての留意点》						
訪問看護演習では「脳梗塞Sさん」の事例について模擬実践する。日常の生活や行動に関心を向け、生活の場にあるものを活用するという視点で柔軟な発想をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅をいう場を考えた日常生活援助がイメージできる	テキスト プロジェクター	自宅の間取り図、家具の配置、空間、段差やドアなどを授業までに撮影しておく	
		各コマにおける授業予定	・在宅療養の場で起こり得る事故の予防と対応、リスクの特徴 ・事前撮影自宅の写真からリスクを検討する			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	初回訪問の計画が立案できる	テキスト プロジェクター	立案した計画に基づき、グループごとに初回訪問場面のロールプレイを撮影しディスカッションできるように準備しておく。	
		各コマにおける授業予定	・脳梗塞Sさんの事例の初回訪問について初回訪問計画を立案する。 ・ロールプレーできるように事例の脚本を作成する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	初回訪問が模擬実践できる	テキスト プロジェクター	訪問マナーに留意したよりよい初回訪問についてのレポートを指定期日までに提出する。	
		各コマにおける授業予定	・グループごとに撮影したロールプレイ動画を相互評価し、よりよいについて意見交換する			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅における食事・排泄・移動の援助が考えられる	テキスト プロジェクター	グループで立案した計画を指定日時までに提出する。	
		各コマにおける授業予定	・ベッドから食卓に移動しての食事援助、自助具の作成について計画を立案する ・ベッド上での排便の援助計画を立案する			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅における食事・排泄・移動援助が模擬実践できる	テキスト プロジェクター	①グループの計画を追加修正②各自で援助後にリフレクション ①②について指定期日に提出する。	
		各コマにおける授業予定	・食卓に移動しての食事援助、自助具の作成、作成した自助具を活用し食事援助を模擬実践する。 ・ベッド上での排便を模擬実践する。 ・撮影動画を見て相互評価し改善点を提案する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅にある物品を工夫した洗髪の援助方法が立案できる	テキスト プロジェクター	グループで立案した計画を指定日時までに提出する。
		各コマにおける授業予定	・在宅にあるものを工夫した洗髪方法を考え援助計画を立案する		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅にある物品を工夫した洗髪が模擬実践できる	テキスト プロジェクター	①グループの計画を追加修正②各自で援助後にリフレクション ①②について指定日時までに提出する。
		各コマにおける授業予定	・援助計画を基に模擬実践し撮影する。 ・撮影動画をみて相互評価し改善点、より良い方法を提案する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験		
		各コマにおける授業予定	終講試験		